

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 7 部門第 3 区分
 【発行日】 平成 18 年 6 月 8 日 (2006.6.8)

【公表番号】 特表 2002-506321(P2002-506321A)
 【公表日】 平成 14 年 2 月 26 日 (2002.2.26)
 【出願番号】 特願 2000-535121(P2000-535121)
 【国際特許分類】

H O 4 L 29/06 (2006.01)

H O 4 L 12/56 (2006.01)

【F I】

H O 4 L 13/00 3 0 5 Z

H O 4 L 12/56 3 0 0 Z

【手続補正書】
 【提出日】 平成 18 年 2 月 17 日 (2006.2.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 特許請求の範囲
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 通信リンク (16) を通じて転送される、メッセージヘッダを備えたメッセージを伝達するときのオーバーヘッドを削減する方法であって、

前記通信リンク (16) を通じて転送されるメッセージが受信され、削減されたデータメッセージおよび対応付けられたエイリアスアドレスが前記通信リンク (16) で転送される方法において、

所定の第 1 組のエイリアスアドレスからの未使用のエイリアスアドレスが使用可能であるか否か決定するステップと、

未使用のエイリアスアドレスが使用可能な場合は、対応付けられたエイリアスアドレスを与えるように、所定の第 1 組のエイリアスアドレスからの未使用のエイリアスアドレスを、前記受信したメッセージのヘッダの少なくとも一部と対応付けるステップと、

未使用のエイリアスアドレスが使用不能な場合は、前記所定の 1 組のエイリアスアドレスの使用済みの 1 つを前記ヘッダと対応付け、対応付けられたエイリアスアドレスを与えるように、前記所定の第 1 組のエイリアスアドレスからのエイリアスアドレスであって、前に受信したメッセージのヘッダと現在対応付けられているエイリアスアドレスを、前記受信したメッセージの前記ヘッダの少なくとも一部と対応付けるステップと、

メッセージヘッダを備えた後続メッセージから、前記メッセージヘッダの少なくとも一部を除去して、メッセージを削減するステップであって、前記後続メッセージのメッセージヘッダの一部は、前記受信したメッセージの前記メッセージヘッダと実質的に同一である前記ステップ (46、96) と、

を含む方法。

【請求項 2】 請求項 1 記載の方法において、前記除去するステップは、前記エイリアスアドレスと、前記メッセージに付随する前記メッセージヘッダの少なくとも一部とを、前記通信リンクで転送するステップ (36、98) より先に実行される方法。

【請求項 3】 請求項 2 記載の方法であって、前記メッセージヘッダの少なくとも一部と前記対応付けられたエイリアスアドレスとの対応付けの確認を、前記通信リンクから受信する前記ステップ (38、94) を更に含む方法。

【請求項 4】 請求項 1 記載の方法であって、

エイリアスアドレスと、転送された削減されたデータメッセージとを前記通信リンク (

16) から受信するステップ(50、100、130)と、

前記受信したエイリアスアドレスに対応付けられた前記メッセージヘッダの前記少なくとも一部と、前記削減されたデータメッセージとから前記後続メッセージを再構成するステップ(70、120、136)と、
を更に含む方法。

【請求項5】 請求項1記載の方法であって、メッセージヘッダの少なくとも一部に対応付けられたエイリアスアドレスが使用済みとして識別するステップを更に含む方法。

【請求項6】 請求項1記載の方法において、前記所定の第1組のエイリアスアドレスからの使用済みエイリアスアドレスに対応付ける前記ステップは、

前記使用済みエイリアスアドレスごとに最終使用時を与えるように、前記所定の第1組のエイリアスアドレスからの各使用済みエイリアスアドレスが、いつ最後の使用されたかを決定するステップ(34、88)と、

使用済みエイリアスアドレスが使用不能な場合は、前記所定の第1組のエイリアスアドレスからの最終使用時が最も古い使用済みエイリアスアドレスと、前記受信したメッセージの前記メッセージヘッダの少なくとも一部とに対応付けるステップと、
を含む方法。

【請求項7】 請求項1記載の方法において、前記メッセージヘッダの前記少なくとも一部は、前記メッセージの発信元アドレスおよび宛先アドレスを含む方法。

【請求項8】 請求項1記載の方法において、前記通信リンク(16)は、無線通信リンクである方法。

【請求項9】 請求項1記載の方法であって、

エイリアスアドレスと前記メッセージヘッダとの対応付けを監視するステップ(84、142)と、

前記監視にもとづいて前記所定の第1組のエイリアスアドレスの中のエイリアスアドレスの数を増加させ、所定の第2組のエイリアスアドレスを与えるステップ(86、144)と、
を更に含む方法。

【請求項10】 請求項9記載の方法において、前記増加させるステップは、エイリアスアドレスの長さを増加させた連絡を、前記通信リンクで転送する前記ステップを含む方法。

【請求項11】 請求項9記載の方法であって、前記エイリアスアドレスが活動状態にないと決定されると、前記所定の第2組のエイリアスアドレスから前記エイリアスアドレスを除去するステップを更に含む方法。

【請求項12】 請求項11記載の方法において、前記所定の第2組のエイリアスアドレスは、前記所定の第1組のエイリアスアドレスと所定の第3組のエイリアスアドレスの組み合わせを含む方法。

【請求項13】 請求項12記載の方法であって、前記所定の第3組のエイリアスアドレスのすべてが、前記所定の第2組のエイリアスアドレスから除去されている場合は、前記エイリアスアドレスの数を前記所定の第1組のエイリアスアドレスに減少させるステップを更に含む方法。

【請求項14】 通信リンクを通じて、メッセージヘッダを備えたメッセージを伝達するときのオーバーヘッドを削減するシステムであって、前記通信リンク(16)を通じて転送されるメッセージが受信され、削減されたデータメッセージと対応付けられたエイリアスアドレスが前記通信リンク(16)で転送されるシステムにおいて、

所定の第1組のエイリアスアドレスからの未使用のエイリアスアドレスが使用可能であるか否か決定する手段と、

未使用のエイリアスアドレスが使用可能な場合は、対応付けられたエイリアスアドレスを与えるように、所定の第1組のエイリアスアドレスからの未使用のエイリアスアドレスを、前記受信したメッセージのヘッダの少なくとも一部と対応付ける手段と、

未使用のエイリアスアドレスが使用不能な場合は、対応付けられたエイリアスアドレス

を与えるように、前記所定の第1組のエイリアスアドレスからの使用済みのエイリアスアドレスを、前記受信したメッセージの前記ヘッダの少なくとも一部と対応付ける手段と、メッセージヘッダを備えた後続メッセージから、前記メッセージヘッダの少なくとも一部を除去して、メッセージを削減する手段であって、前記後続メッセージのメッセージヘッダの一部は、前記受信したメッセージの前記メッセージヘッダと実質的に同一である前記手段(46、96)と、を含むシステム。

【請求項15】 請求項14記載のシステムであって、前記エイリアスアドレスと、前記メッセージに付随する前記メッセージヘッダの少なくとも一部とを、前記通信リンク(16)で転送する手段(12、36、98)を更に含むシステム。

【請求項16】 請求項15記載のシステムであって、前記メッセージヘッダの少なくとも一部と、前記対応付けられたエイリアスアドレスとの対応付けの確認を、前記通信リンク(16)から受信する手段(12、38、94)を更に含むシステム。

【請求項17】 請求項14記載のシステムであって、エイリアスアドレスと、転送された削減されたデータメッセージとを前記通信リンク(16)から受信する手段(14、50、100、130)と、前記受信したエイリアスアドレスに対応付けられた前記メッセージの前記少なくとも一部と、前記削減されたデータメッセージとから前記後続メッセージを再構成する手段(70、120、136)と、を更に含むシステム。

【請求項18】 請求項14記載のシステムであって、メッセージヘッダの少なくとも一部に対応付けられたエイリアスアドレスが使用済みとして識別する手段を更に含むシステム。

【請求項19】 請求項14記載のシステムにおいて、前記所定の第1組のエイリアスアドレスからの使用済みエイリアスアドレスに対応付ける前記手段は、

前記使用済みエイリアスアドレスごとに最終使用時を与えるように、前記所定の第1組のエイリアスアドレスからの各使用済みエイリアスアドレスが、いつ最後に使用されたかを決定する手段(34、88)と、

使用済みエイリアスアドレスが使用不能な場合は、前記所定の第1組のエイリアスアドレスからの最終使用時が最も古い使用済みエイリアスアドレスと、前記メッセージヘッダの少なくとも一部と対応付ける手段と、を含むシステム。

【請求項20】 請求項14記載のシステムにおいて、前記メッセージヘッダの前記少なくとも一部は、前記メッセージの発信元アドレスおよび宛先アドレスを含むシステム。

【請求項21】 請求項14記載のシステムにおいて、前記通信リンク(16)は、無線通信リンクであるシステム。

【請求項22】 請求項14記載のシステムであって、エイリアスアドレスと前記メッセージヘッダとの対応付けを監視する手段(84、142)と、

所定の第2組のエイリアスアドレスを与えるように、前記監視にもとづいて前記所定の第1組のエイリアスアドレスの中のエイリアスアドレスの数を増加させる手段(86、144)と、

を更に含むシステム。

【請求項23】 請求項22記載のシステムにおいて、前記増加させる手段は、エイリアスアドレスの長さを増加させた連絡を、前記通信リンクで転送する手段を更に含むシステム。

【請求項24】 請求項22記載のシステムであって、前記エイリアスアドレスが活動状態にないと決定されると、前記所定の第2組のエイリアスアドレスから前記エイリアスアドレスを除去する手段を更に含むシステム。

【請求項 25】 請求項 24 記載のシステムにおいて、前記所定の第 2 組のエイリアスアドレスは、前記所定の第 1 組のエイリアスアドレスと所定の第 3 組のエイリアスアドレスの組み合わせを含むシステム。

【請求項 26】 請求項 25 記載のシステムであって、前記所定の第 3 組のエイリアスアドレスのすべてが、前記所定の第 2 組のエイリアスアドレスから除去されている場合は、前記エイリアスアドレスの数を前記所定の第 1 組のエイリアスアドレスに減少させる手段を更に含むシステム。

【請求項 27】 通信リンク (16) を通じて、メッセージヘッダを備えたメッセージを伝達するときのオーバーヘッドを削減するコンピュータプログラムであって、前記通信リンクを通じて転送されるメッセージが受信され、削減されたデータメッセージと対応付けられたエイリアスアドレスが前記通信リンク (16) で転送されるコンピュータプログラムにおいて、

コンピュータが読み取り可能な記憶媒体であって、前記媒体に含まれるコンピュータが読み取り可能なプログラムコードの手段を備えた前記記憶媒体を含み、前記コンピュータが読み取り可能なプログラムコードの手段は、

所定の第 1 組のエイリアスアドレスからの未使用のエイリアスアドレスが使用可能であるか否か決定するコンピュータが読み取り可能なプログラムコードの手段と、

未使用のエイリアスアドレスが使用可能な場合は、対応付けられたエイリアスアドレスを与えるように、所定の第 1 組のエイリアスアドレスからの未使用のエイリアスアドレスを、前記受信したメッセージのヘッダの少なくとも一部と対応付けるコンピュータが読み取り可能なプログラムコードの手段と、

未使用のエイリアスアドレスが使用不能な場合は、対応付けられたエイリアスアドレスを与えるように、前記所定の第 1 組のエイリアスアドレスからの使用済みのエイリアスアドレスを、前記受信したメッセージの前記ヘッダの少なくとも一部と対応付けるコンピュータが読み取り可能なプログラムコードの手段と、

メッセージヘッダを備えた後続メッセージから、前記メッセージヘッダの少なくとも一部を除去して、メッセージを削減するコンピュータが読み取り可能なプログラムコードの手段であって、前記後続メッセージのメッセージヘッダの一部は、前記受信したメッセージの前記メッセージヘッダと実質的に同一である前記コンピュータが読み取り可能なプログラムコードの手段 (46、96) と、

を含むコンピュータプログラム。

【請求項 28】 請求項 27 記載のコンピュータプログラムであって、前記エイリアスアドレスと、前記メッセージに付随する前記メッセージヘッダの少なくとも一部とを、前記通信リンク (16) で転送するコンピュータが読み取り可能なプログラムコードの手段 (36、98) を更に含むコンピュータプログラム。

【請求項 29】 請求項 28 記載のコンピュータプログラムであって、前記メッセージヘッダの少なくとも一部と、前記対応付けられたエイリアスアドレスとの対応付けの確認を、前記通信リンク (16) から受信するコンピュータが読み取り可能なプログラムコードの手段 (38、94) を更に含むコンピュータプログラム。

【請求項 30】 請求項 27 記載のコンピュータプログラムであって、

エイリアスアドレスと、転送された削減されたデータメッセージとを前記通信リンク (16) から受信するコンピュータが読み取り可能なプログラムコードの手段 (50、100、130) と、

前記受信したエイリアスアドレスに対応付けられた前記メッセージの前記少なくとも一部と、前記削減されたデータメッセージとから前記後続メッセージを再構成するコンピュータが読み取り可能なプログラムコードの手段 (70、120、136) と、
を更に含むコンピュータプログラム。

【請求項 31】 請求項 27 記載のコンピュータプログラムであって、メッセージヘッダの少なくとも一部に対応付けられたエイリアスアドレスが使用済みとして識別するコンピュータが読み取り可能なプログラムコードの手段を更に含むコンピュータプログラム

。

【請求項 3 2】 請求項 2 7 記載のコンピュータプログラムにおいて、前記所定の第 1 組のエイリアスアドレスからの使用済みエイリアスアドレスを対応付ける前記コンピュータが読み取り可能なプログラムコードの手段は、

前記使用済みエイリアスアドレスごとに最終使用時を与えるように、前記所定の第 1 組のエイリアスアドレスからの各使用済みエイリアスアドレスは、いつ最後に使用されたかを決定するコンピュータが読み取り可能なプログラムコードの手段（3 4、8 8）と、

使用済みエイリアスアドレスが使用不能な場合は、前記所定の第 1 組のエイリアスアドレスからの最終使用時が最も古い使用済みエイリアスアドレスと、前記メッセージヘッダの少なくとも一部を対応付けるコンピュータが読み取り可能なプログラムコードの手段と

、

を含むコンピュータプログラム。

【請求項 3 3】 請求項 2 7 記載のコンピュータプログラムにおいて、前記メッセージヘッダの前記少なくとも一部は、前記メッセージの発信元アドレスおよび宛先アドレスを更に含むコンピュータプログラム。

【請求項 3 4】 請求項 2 7 記載のコンピュータプログラムにおいて、前記通信リンク（1 6）は、無線通信リンクであるコンピュータプログラム。

【請求項 3 5】 請求項 2 7 記載のコンピュータプログラムであって、

エイリアスアドレスと前記メッセージヘッダとの対応付けを監視するコンピュータが読み取り可能なプログラムコードの手段（8 4、1 4 2）と、

所定の第 2 組のエイリアスアドレスを与えるように、前記監視にもとづいて前記所定の第 1 組のエイリアスアドレスの中のエイリアスアドレスの数を増加させるコンピュータが読み取り可能なプログラムコードの手段（8 6、1 4 4）と、

を更に含むコンピュータプログラム。

【請求項 3 6】 請求項 3 5 記載のコンピュータプログラムにおいて、前記増加させるコンピュータが読み取り可能なプログラムコードの手段は、エイリアスアドレスの長さを増加させた連絡を、前記通信リンク（1 6）で転送する前記コンピュータが読み取り可能なプログラムコードの手段を含むコンピュータプログラム。

【請求項 3 7】 請求項 3 5 記載のコンピュータプログラムであって、前記エイリアスアドレスが活動状態にないと決定されると、前記所定の第 2 組のエイリアスアドレスから前記エイリアスアドレスを除去するコンピュータが読み取り可能なプログラムコードの手段を更に含むコンピュータプログラム。

【請求項 3 8】 請求項 3 7 記載のコンピュータプログラムにおいて、前記所定の第 2 組のエイリアスアドレスは、前記所定の第 1 組のエイリアスアドレスと所定の第 3 組のエイリアスアドレスの組み合わせを含むコンピュータプログラム。

【請求項 3 9】 請求項 3 8 記載のコンピュータプログラムであって、前記所定の第 3 組のエイリアスアドレスのすべてが、前記所定の第 2 組のエイリアスアドレスから除去されている場合は、前記エイリアスアドレスの数を前記所定の第 1 組のエイリアスアドレスに減少させるコンピュータが読み取り可能なプログラムコードの手段を更に含むコンピュータプログラム。